



平成 20 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 10 月 23 日

上場会社名 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
 コード番号 8060
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村瀬 治男
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 本社管理部門担当 (氏名) 川崎 正己

上場取引所 東証第一部
 URL <http://canon.jp>

TEL (03) 6719-9071

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 12 月期第 3 四半期	612,307	△4.4	17,638	△26.6	18,213	△25.3	7,772	△42.6
19 年 12 月期第 3 四半期	640,783	4.0	24,034	4.3	24,375	3.1	13,537	4.4
19 年 12 月期	905,136		36,886		36,895		20,033	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当 り四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 12 月期第 3 四半期	54	12	—	—
19 年 12 月期第 3 四半期	90	72	—	—
19 年 12 月期	134	84	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 12 月期第 3 四半期	478,131	260,573	53.8	1,825	72
19 年 12 月期第 3 四半期	512,728	268,375	51.3	1,785	72
19 年 12 月期	526,124	269,568	50.6	1,817	59

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 12 月期第 3 四半期	33,788	△24,739	△16,699	109,529
19 年 12 月期第 3 四半期	39,683	△24,232	△10,964	112,684
19 年 12 月期	47,214	△21,911	△16,344	117,206

2. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	840,000	△7.2	28,500	△22.7	29,000	△21.4	12,500	△37.6	87	48

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成20年7月23日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績はさまざまな要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年1月1日～平成20年9月30日）の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、資源価格の高騰や円高、世界的な金融不安の高まり、株安等の影響により企業の景況感が急速に悪化するとともに個人消費も伸び悩む等、総じて低調に推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループの売上高は、ITソリューションやデジタル一眼レフカメラの売上が増加したものの半導体露光装置やコンパクトデジタルカメラの売上が減少したため、6,123億7百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

利益面におきましては、売上の減少によって売上総利益が減少するとともに販管費が微増となったことにより、営業利益は176億38百万円（前年同期比26.6%減）、経常利益は182億13百万円（前年同期比25.3%減）となりました。また、四半期純利益は、会計処理の変更による過年度永年勤続慰労引当金繰入額やグループ統合関連費用の計上等により特別損失が増加したため、77億72百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

（ビジネスソリューション事業）

ドキュメントビジネス

オフィスMFP（複合機）の国内市場は、台数ベースでカラー機が伸びたもののモノクロ機が減少したため、全体として微減で推移したものとされます。当社は、「Color imageRUNNER」シリーズで普及機を中心に台数を伸ばしたほか、コンビニエンスストアにおけるレンタル機の入替えもあり、カラー機の出荷台数は堅調に推移しました。しかしながら、モノクロ機の大幅な減少やレンタル機比率の上昇等により、オフィスMFP全体は出荷台数ベースでは前年並みで推移したものの機器売上ベースでは前年同期を下回りました。デジタル商業印刷市場向けのプロダクションMFPでは、「imagePRESS C7000VP/C6000」の売上拡大に努めました。また、ラインアップの充実に向け、9月にカラー機「imagePRESS C1+」とモノクロ機3機種を発表しました。

LBP（レーザビームプリンタ）の国内市場は、オフィスMFPへの集約化等の影響により、台数は減少したものとされます。当社は、カラー機でA3対応の機種を中心に、大型商談の獲得等により順調に台数を伸ばしました。しかしながら、モノクロ機の減少により、全体の台数は前年同期を下回りました。トナーカートリッジは、カラーを中心に堅調に推移しました。

大判インクジェットプリンタは、「imagePROGRAF」シリーズで、スタンダードモデルからハイエンドモデルまで商品ラインアップを充実させました。その結果、消耗品も含め順調に売上を伸ばしました。

オフィスMFPの保守サービスは、厳しい価格競争により保守料金の単価下落が続きましたが、ドキュメントボリュームの伸びにより、売上は堅調に推移しました。また、引き続きインターネットによるオフィスMFPのリモート管理システム「ネットアイ」の装着促進を図り、サービスの効率化を推進しました。

当社グループのキヤノンシステムアンドサポート(株)は、保守サービスの売上は堅調に推移したものの、主力顧客の中小規模事業所においてビジネス機器の売上が減少しました。なお、同社は7月に東京・神奈川・大阪をそれぞれ拠点とするキヤノンビーエム3社を合併しました。

ITソリューション

ITソリューションの国内市場は、コンプライアンスや内部統制、情報セキュリティ等に関するニーズにより堅調に推移したものとされます。当社は、オープンプラットフォーム「MEAP」に対応するICカード認証システム等のセキュリティ関連の売上が増加しました。一方、ビジネスコンピュータ等のITプロダクトは、設備投資の減退の影響により、売上が減少しました。

グループ会社のキヤノンソフトウェア(株)は、CAD関連や機器組込みソフトウェア等のビジネスが順調に推移するとともに、ソリューション部門においても売上を伸ばしました。キヤノンITソリューションズ(株)は、金融や機器組込みソフトウェアの分野で厳しい状況があったものの(株)アルゴ21との統合効果

等により、SI サービス部門が増収となりました。また、電子カルテをはじめとする診療所向け商品やセキュリティ商品等のパッケージ商品部門も売上を伸ばしました。キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)は、ネットワークインフラ構築やインターネットデータセンターのビジネスが順調に売上を伸ばしました。

これらの結果、当事業の売上高は3,749億72百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

(コンシューマ機器事業)

デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

コンパクトデジタルカメラの国内市場は、台数ベースではほぼ前年同期並みで推移したものの思われませんが、厳しい価格競争が続きました。当社は「IXY DIGITAL 20 IS/25 IS」を中心に拡販を図るとともに、次世代映像エンジン「DIGIC4」を搭載した「IXY DIGITAL 920 IS」等を9月20日に発売し、シェアNo.1を維持しました。しかしながら、単価下落等により売上は好調であった前年同期を下回りました。

デジタル一眼レフカメラの国内市場は、各社から普及価格帯の新製品が相次いで発売され、またコンパクトデジタルカメラからステップアップする顧客層の増加により、台数ベースで大幅に拡大したものとされます。当社は、3月に発売した普及モデルの「EOS Kiss X2」が好調に推移するとともに、中級モデルでは次世代映像エンジン「DIGIC4」を搭載した「EOS 50D」を9月27日に発売しました。好調なカメラ本体の伸びに伴い、交換レンズの売上も引き続き増加しました。

デジタルビデオカメラの国内市場は、台数ベースで微増となったものと思われれます。当社は、8月に発売したハイビジョンモデルの「iVIS HF11」が、内蔵フラッシュメモリーとSDカードの“ダブルメモリー”による利便性や小型軽量・長時間記録・高画質で好評を博し、売上の増加とシェアの拡大に大きく貢献しました。

家庭用プリンタ(インクジェットプリンタ・昇華型コンパクトフォトプリンタ)

インクジェットプリンタの国内市場は、台数ベースで微減となったものと思われれます。当社は、昨年発売した「PIXUS」シリーズの「MP610」を中心に拡販に努め、売上を増加させました。「ENJOY PHOTO」のコンセプトのもと、フォトレーターやカレンダー作りを提案する販売促進活動を引き続き推進し、ホームプリントの需要喚起に努めました。消耗品では、インクカートリッジの売上が堅調に推移しました。

コンパクトフォトプリンタの国内市場は、インクジェットプリンタやデジタルカメラの単価下落によって割高感が出てきていること等により、台数ベースで前年同期を大きく下回ったものと思われれます。当社は、インク・用紙一体カートリッジ採用の「SELPHY ES2」に加え、バスケット収納タイプの「SELPHY CP770」を6月に新規投入し拡販に努めましたが、売上は前年同期を下回りました。

これらの結果、当事業の売上高は1,837億82百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

(産業機器事業)

国内の半導体露光装置市場は、メモリーメーカーの設備投資が抑制へと転じたため、出荷台数は減少したものと思われれます。当社は、主力製品であるi線ステッパーとKrFスキヤニングステッパーを中心に販売活動を展開しましたが、売上は前年同期を大幅に下回りました。

医療機器は、デジタル機器への更新が進むなか、デジタルラジオグラフィ「CXDI」シリーズ(X線デジタル撮影装置)や無散瞳型眼底カメラが売上を伸ばしました。

放送機器は、ハイビジョンに対応したカメラ一体型リモート雲台が売上を伸ばしました。

これらの結果、当事業の売上高は535億53百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年1月1日～平成20年9月30日）の概況

営業活動によるキャッシュ・フローの資金の増加は337億88百万円（前第3四半期は396億83百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益158億66百万円、賞与引当金の増加100億53百万円、売上債権の減少537億87百万円による資金の増加と、仕入債務の減少295億9百万円、法人税等の支払129億46百万円による資金の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローの資金の減少は247億39百万円（前第3四半期は242億32百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出70億92百万円、短期貸付金の純増加199億94百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローの資金の減少は166億99百万円（前第3四半期は109億64百万円の減少）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出100億13百万円と、配当金の支払60億96百万円によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末残高より76億76百万円減少して、1,095億29百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年度の第4四半期を展望しますと、世界経済が欧米を中心とした金融不安の高まり等により減速傾向を示すなか、わが国の経済も停滞局面が続くものと思われまます。

このような経済環境のもと、当社グループのセグメントの見通しは以下の通りであります。

（ビジネスソリューション事業）

ドキュメントビジネスでは、ソリューション提案の展開等によりMFPやLBPの需要開拓に努めていきます。しかしながら、企業の設備投資の抑制傾向により、ビジネス機器は総じて需要の低迷が懸念されます。また、保守サービスも含め価格競争が継続すると見込まれます。

ITソリューションでは、金融、製造の分野を中心としたSIビジネスをはじめ、基盤・運用保守ビジネス、ドキュメントやセキュリティ等に関するソリューション提供を強化していきます。しかしながら、不安定な経済状況により新規投資の先送りの傾向は続くと思われるため、ITソリューション全体の売上は前年を下回る見通しであります。

（コンシューマ機器事業）

デジタル一眼レフカメラは市場が拡大するなか、新製品効果に加えて入門機から上級機まで積極的なマーケティング活動を行うことにより、交換レンズを含め今後も好調が続くと見込んでいます。一方、コンパクトデジタルカメラはメーカー間や販売店間での激しい競争の継続が見込まれますが、当社は9月発売の「IXY DIGITAL 920 IS」等の新製品を牽引役としてシェアNo.1の維持を目指します。デジタルビデオカメラは新製品「iVIS HF11」を中心に拡販を図り、前年を上回る販売台数を見込んでいます。インクジェットプリンタは10月発売の「PIXUS MP630」等の新製品により前年を上回る販売台数を見込んでいます。また、カートリッジ等の消耗品の売上も堅調に推移していくものと考えています。

（産業機器事業）

半導体露光装置は国内市場の出荷台数が前年を下回るものと予想しており、当社の販売台数も前年に比べ大幅に減少すると見込んでいます。一方、医療機器、放送機器の売上は、ほぼ横這いで推移すると見込んでいます。

業績予想につきましては、上記の見通しを勘案して前回発表の業績予想(平成20年7月23日)に対して、下記のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想数値の修正(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	875,000	32,500	33,000	17,000
今回修正予想(B)	840,000	28,500	29,000	12,500
増減額(B-A)	35,000	4,000	4,000	4,500
増減率(%)	4.0	12.3	12.1	26.5
(ご参考) 前期実績(平成19年12月期)	905,136	36,886	36,895	20,033

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税効果会計及び法人税等の計上基準等において簡便的な方法を採用しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(永年勤続慰労引当金の計上)

当社及び一部の連結子会社は、永年職務に精励した従業員に対して、心身をリフレッシュし今後の新たな活力を生み出すことを目的として、一定期間ごとに休暇を付与し慰労金を支給するリフレッシュ休暇制度に係る内部規程を設けております。

リフレッシュ休暇制度に係る慰労金については、従来支出時の費用として処理しておりましたが、従業員の増加により金額的重要性が高まったこと、また、勤怠管理システムの機能の充実化に伴い合理的な見積が可能になったことにより、期間損益の適正化を図るため、当期から内部規程による支給見込額に基づき引当計上する方法に変更いたしました。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は87百万円、税金等調整前四半期純利益は1,016百万円それぞれ減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別			科目	期別		
	前第3四半期 平成19. 9. 30	当第3四半期 平成20. 9. 30	前期 平成19. 12. 31		前第3四半期 平成19. 9. 30	当第3四半期 平成20. 9. 30	前期 平成19. 12. 31
	金額	金額	金額		金額	金額	金額
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	347,108	322,193	368,653	I 流動負債	199,863	175,583	213,959
現金及び預金	111,696	27,447	41,014	支払手形及び買掛金	138,453	118,837	148,329
受取手形及び売掛金	161,630	135,630	189,551	短期借入金	567	—	343
有価証券	11,208	87,392	86,491	未払費用	24,679	22,376	30,167
たな卸資産	50,250	40,600	37,691	未払法人税等	3,390	1,998	8,682
繰延税金資産	5,871	4,856	6,056	未払消費税等	2,309	1,400	3,360
短期貸付金	—	20,001	7	繰延税金負債	—	29	12
その他	6,670	6,686	8,151	引当金	15,298	15,058	5,386
貸倒引当金	△220	△422	△310	その他	15,164	15,882	17,677
II 固定資産	165,620	155,938	157,471	II 固定負債	44,489	41,973	42,597
1 有形固定資産	100,849	98,841	99,659	長期借入金	286	—	130
建物及び構築物	46,137	44,573	45,492	繰延税金負債	1,913	281	338
機械装置及び運搬具	60	34	54	退職給付引当金	38,860	37,170	38,577
工具器具及び備品	5,177	4,693	5,011	役員退職慰労引当金	699	748	738
レンタル資産	7,607	7,737	7,236	永年勤続慰労引当金	—	820	—
土地	41,865	41,801	41,865	その他	2,730	2,952	2,812
2 無形固定資産	12,915	16,653	13,606	負債合計	244,352	217,557	256,556
のれん	3,522	3,128	3,772	(純資産の部)			
ソフトウェア	8,953	13,094	9,396	I 株主資本	261,612	257,102	265,432
施設利用権	393	390	393	資本金	73,303	73,303	73,303
その他	45	40	44	資本剰余金	82,529	83,295	83,296
3 投資その他の資産	51,855	40,443	44,205	利益剰余金	112,032	120,203	118,527
投資有価証券	19,707	7,578	12,369	自己株式	△6,251	△19,699	△9,694
長期貸付金	34	27	29	II 評価・換算差額等	1,429	△103	654
繰延税金資産	19,657	19,610	19,262	その他有価証券評価差額金	1,415	△105	639
差入保証金	8,370	9,118	8,627	為替換算調整勘定	14	2	14
その他	5,304	5,120	4,936	III 少数株主持分	5,333	3,574	3,481
貸倒引当金	△1,218	△1,012	△1,020	純資産合計	268,375	260,573	269,568
資産合計	512,728	478,131	526,124	負債及び純資産合計	512,728	478,131	526,124

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

科目	期別		前第3四半期		当第3四半期		増減		前期	
	平成19. 1. 1～平成19. 9. 30		平成20. 1. 1～平成20. 9. 30		平成19. 1. 1～平成19. 12. 31					
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比		
I 売上高	640,783	100.0	612,307	100.0	△ 28,475	△ 4.4	905,136	100.0		
II 売上原価	433,364	67.6	411,041	67.1	△ 22,323	△ 5.2	615,389	68.0		
売上総利益	207,418	32.4	201,266	32.9	△ 6,152	△ 3.0	289,746	32.0		
III 販売費及び一般管理費	183,384	28.6	183,627	30.0	243	0.1	252,860	27.9		
営業利益	24,034	3.8	17,638	2.9	△ 6,396	△ 26.6	36,886	4.1		
IV 営業外収益	2,022	0.3	1,948	0.3	△ 73	△ 3.7	2,400	0.3		
受取利息及び配当金	687		733		46		911			
負ののれん償却額	240		—		△ 240		61			
その他	1,095		1,214		119		1,428			
V 営業外費用	1,681	0.3	1,373	0.2	△ 307	△ 18.3	2,391	0.3		
支払利息	45		50		5		66			
たな卸資産廃却及び評価損	1,314		1,052		△ 262		1,901			
その他	321		270		△ 51		423			
経常利益	24,375	3.8	18,213	3.0	△ 6,162	△ 25.3	36,895	4.1		
VI 特別利益	27	0.0	21	0.0	△ 6	△ 23.7	1,313	0.1		
固定資産売却益	15		0		△ 15		15			
投資有価証券売却益	12		0		△ 11		805			
その他	—		20		20		492			
VII 特別損失	655	0.1	2,368	0.4	1,712	261.3	2,757	0.3		
固定資産売却損	312		372		59		558			
投資有価証券評価損	—		267		267		1,235			
過年度永年勤続慰労引当金繰入額	—		929		929		—			
グループ統合関連費用	—		487		487		58			
関係会社本社移転関連費用	—		142		142		—			
倉庫移転関連費用	226		—		△ 226		226			
持分変動損失	66		—		△ 66		130			
商号変更関連費用	17		132		115		20			
その他	32		36		3		527			
税金等調整前四半期(当期)純利益	23,747	3.7	15,866	2.6	△ 7,881	△ 33.2	35,452	3.9		
法人税等	9,968	1.6	7,882	1.3	△ 2,086	△ 20.9	14,748	1.6		
少数株主利益	241	0.0	211	0.0	△ 30	△ 12.5	670	0.1		
四半期(当期)純利益	13,537	2.1	7,772	1.3	△ 5,764	△ 42.6	20,033	2.2		

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

科目	期別	前第3四半期 平成19. 7. 1～平成19. 9. 30		当第3四半期 平成20. 7. 1～平成20. 9. 30		増減	
		金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
			%		%		%
I	売上高	213,074	100.0	193,683	100.0	△ 19,391	△ 9.1
II	売上原価	143,869	67.5	129,033	66.6	△ 14,836	△ 10.3
	売上総利益	69,204	32.5	64,650	33.4	△ 4,554	△ 6.6
III	販売費及び一般管理費	62,170	29.2	61,322	31.7	△ 847	△ 1.4
	営業利益	7,034	3.3	3,327	1.7	△ 3,707	△ 52.7
IV	営業外収益	350	0.1	427	0.2	76	21.8
	受取利息及び配当金	294		224		△ 69	
	負ののれん償却額	△ 134		—		134	
	その他	191		203		12	
V	営業外費用	475	0.2	310	0.1	△ 165	△ 34.7
	支払利息	20		15		△ 4	
	たな卸資産廃却及び評価損	365		236		△ 129	
	その他	89		58		△ 30	
	経常利益	6,909	3.2	3,444	1.8	△ 3,465	△ 50.2
VI	特別利益	2	0.0	—	0.0	△ 2	△ 100.0
VII	特別損失	170	0.0	219	0.1	48	28.1
	税金等調整前四半期純利益	6,741	3.2	3,225	1.7	△ 3,516	△ 52.2
	法人税等	3,128	1.5	1,867	1.0	△ 1,260	△ 40.3
	少数株主利益	66	0.0	49	0.0	△ 16	△ 25.4
	四半期純利益	3,546	1.7	1,308	0.7	△ 2,238	△ 63.1

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第3四半期	当第3四半期	前期
		平成19. 1. 1～平成19. 9. 30	平成20. 1. 1～平成20. 9. 30	平成19. 1. 1～平成19. 12. 31
		金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期（当期）純利益	23,747	15,866	35,452	
減価償却費	8,699	8,996	11,968	
のれん（負ののれん）償却額	△ 240	630	△ 61	
貸倒引当金の増減額	△ 143	77	△ 251	
退職給付引当金の減少額	△ 1,358	△ 1,458	△ 1,658	
役員退職慰労引当金の減少額	△ 49	△ 5	△ 10	
賞与引当金の増減額	9,521	10,053	△ 692	
受取利息及び受取配当金	△ 687	△ 733	△ 911	
支払利息	45	50	66	
有形固定資産売却却損益	296	354	424	
投資有価証券売却益	△ 12	△ 0	△ 805	
売上債権の減少額	38,743	53,787	10,798	
たな卸資産の増減額	2,027	△ 2,898	14,606	
仕入債務の減少額	△ 20,247	△ 29,509	△ 10,371	
その他	△ 7,904	△ 9,155	1,854	
小計	52,437	46,057	60,410	
利息及び配当金の受取額	678	746	881	
利息の支払額	△ 32	△ 69	△ 48	
法人税等の支払額	△ 13,400	△ 12,946	△ 14,028	
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,683	33,788	47,214	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△ 5,670	△ 7,092	△ 7,270	
無形固定資産の取得による支出	△ 3,866	△ 5,452	△ 5,771	
投資有価証券の取得による支出	△ 947	△ 814	△ 963	
投資有価証券の売却による収入	1,522	4,070	3,188	
子会社株式の取得による支出	△ 343	△ 18	△ 343	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 9,439	—	△ 9,439	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	27	—	
短期貸付金の純増減額	—	△ 19,994	1	
長期性定期預金の預入	△ 1,000	—	△ 1,000	
定期預金の純増減額	△ 4,995	5,000	△ 4,995	
その他	507	△ 464	4,681	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,232	△ 24,739	△ 21,911	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純減少額	△ 208	△ 473	△ 587	
長期借入金の返済による支出	△ 27	—	△ 27	
自己株式の取得による支出	△ 5,012	△ 10,013	△ 10,019	
配当金の支払額	△ 5,388	△ 6,096	△ 5,383	
少数株主への配当金の支払額	△ 331	△ 124	△ 331	
その他	4	7	4	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,964	△ 16,699	△ 16,344	
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 49	△ 25	0	
V 現金及び現金同等物の増減額	4,436	△ 7,676	8,958	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	108,247	117,206	108,247	
VII 現金及び現金同等物の期末残高	112,684	109,529	117,206	

(4)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(第3四半期連結累計期間)

前第3四半期(平成19.1.1~平成19.9.30)

(単位:百万円)

	ビジネスソリューション	コンシューマ機器	産業機器	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	373,661	191,602	75,519	640,783	-	640,783
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	373,661	191,602	75,519	640,783	(-)	640,783
営業費用	362,433	182,818	71,496	616,749	(-)	616,749
営業利益	11,227	8,783	4,023	24,034	(-)	24,034

当第3四半期(平成20.1.1~平成20.9.30)

(単位:百万円)

	ビジネスソリューション	コンシューマ機器	産業機器	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	374,972	183,782	53,553	612,307	-	612,307
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	374,972	183,782	53,553	612,307	(-)	612,307
営業費用	363,683	179,162	51,823	594,669	(-)	594,669
営業利益	11,288	4,619	1,729	17,638	(-)	17,638

(第3四半期連結会計期間)

前第3四半期(平成19.7.1~平成19.9.30)

(単位:百万円)

	ビジネスソリューション	コンシューマ機器	産業機器	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	125,704	63,636	23,732	213,074	-	213,074
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	125,704	63,636	23,732	213,074	(-)	213,074
営業費用	122,985	60,638	22,415	206,039	(-)	206,039
営業利益	2,719	2,998	1,317	7,034	(-)	7,034

当第3四半期(平成20.7.1~平成20.9.30)

(単位:百万円)

	ビジネスソリューション	コンシューマ機器	産業機器	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	117,854	60,047	15,781	193,683	-	193,683
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	117,854	60,047	15,781	193,683	(-)	193,683
営業費用	115,844	58,903	15,606	190,355	(-)	190,355
営業利益	2,009	1,143	174	3,327	(-)	3,327